

令和5年度「鹿児島大学進取の精神チャレンジプログラム」募集要項

1. 進取の精神チャレンジプログラムとは

本プログラムは、鹿児島大学学生憲章(平成22年11月15日制定)の趣旨に則り、学生自らが企画・運営・実施する様々な活動の支援を通じて困難な課題に果敢に挑戦し、実践していくことによって鹿児島大学(以下「本学」という。)における進取の精神の継承・発展を目的としています。

令和4年度は、コロナ禍においても学生である皆さんの創意工夫やアイデアがあれば様々な活動を実施できると考え、プログラムを募集しました。今年度については、コロナの感染拡大も収まりつつありますので昨年度よりも活動しやすい環境にあると思います。皆さんが現在取り組んでいる活動や興味・関心のあることを切り口に企画し、本プログラムに応募してみませんか。意欲とアイデアさえあればOKです。採択されたプログラムには予算の範囲内で支援します。ぜひ、この機会にチャレンジしてみてください。

2. 募集企画

以下のような取組をこのコロナ禍の中でどう工夫して実現できるかを含めて検討してください。

〈一般部門〉

募集テーマ	内容
チャレンジ！鹿児島大学	【大学の活性化】 (例) ・学内の環境改善(美化)活動 ・学内資源の利用促進活動 ・コロナ禍を経た大学情報の発信 ・障がい学生の支援 など 【国際交流】 (例) ・留学生との共同研究活動 など

〈地方創生活動部門〉

募集テーマ	内容
地方創生・ビジネスプラン	【鹿児島県内自治体の地域課題】 (例) ・魅力ある観光資源の発掘とPR戦略の提言 ・商店街の賑わい創出への支援 など 【鹿児島大学発ビジネスプラン】 (例) ・地域産品を世界に販売 ・地域素材を使ったバイオ燃料の開発 など

※採択件数は、「一般部門」5件程度、「地方創生活動部門」5件程度を予定

(参考) 過去の採択プログラムの例

〈一般部門〉

- ・コロナに負けない！増やそう！救命ができる鹿児島大学生！！
- ・鹿児島市在住外国人への歯科検診ボランティアプロジェクト
- ・ウミガメ保全調査活動への関心を高めるための写真展
- ・未利用サメを用いて鹿児島をサメ県にする
- ・金で菌を検出！～安心して鳥刺しを食べてもらおう！～
- ・演奏旅行～吹奏楽でつなぐ離島と鹿児島大学～
- ・鹿児島の水産業の魅力発信
- ・ぬいぐるみ病院プロジェクト
- ・TSUNAGUツアーで鹿大生に新しい学びの風をおこそう！！
- ・地域の特色を活かしたインフラ整備に関する学生シンポジウムin鹿児島

〈地方創生活動部門〉

- ・鹿児島市の住宅団地の暮らしを記録して、更新するZINE製作プロジェクト
- ・カゴンマ飛んで行こう！農-食-生
- ・錦江町子ども未来作りプロジェクト
- ・こんなところに口腔がん！？～世界一受けたいがん検診～
- ・三島村を国際観光拠点に！～鹿大生による魅力発掘と多言語発信～
- ・喜入中名の空き家を活用した地域住民と学生による地域活性化プログラム
- ・夏休み自由研究お助け隊！～ウミガメと吹上浜のなかまたち～
- ・バル活(バルマークにすればトナーカットリッジを離島教育教材にできる説)
- ・留学生+日本人学生による種子島のInbound活性化および地域資源発掘調査

3. 応募資格・条件等

■応募資格

- ・本学の学部学生及び大学院生で、3名以上のグループ
- ・学生が主体であれば教職員と連携して応募も可能

■応募条件

- ①卒業論文、卒業研究で取り組む内容のものは不可
- ②実施期間内に終了できる単年度企画
複数年を要する企画の継続申請も可能(継続理由を明記すること、次年度の予算は確約しない)
- ③「地方創生活動部門」は、課題解決に向け、自治体等と協働して活動する企画
※協働する自治体等については相談に応じます
- ④物品、施設等は、貸与(借用)が原則(次項を参照)

■貸与可能物品(備品)の取扱い

貸与可能物品(備品)は、ノートパソコン(2台)、ビデオカメラ(5台)、デジタルカメラ(2台)、カメラ用三脚(3脚)、レーザーポインター(1個)、浴衣(10枚)。

この予算で購入した備品は大学の資産となりますので、購入備品は、プログラム終了後速やかに大学に返却していただきます。 ※備品とは、耐用年数が1年以上で、かつ、取得価額が概ね1万円以上の物品とします。

■支援予定額

1件につき上限20万円

■購入できないもの

上記の貸与可能物品(備品)、トロフィー、楯、金券・図書券等換金性の高いもの、お土産代、謝礼金、謝礼品、飲食代、使い切りとならない回数券、自家用車のガソリン

4. 応募方法

応募先 :〈一般部門〉については学生生活課、〈地方創生活動部門〉については社会連携課

5. 審査方法

- ①審査委員会を組織し、書類審査及びプレゼンテーションによる審査を行います。
- ②審査結果は、企画書に記載のメールアドレスに通知します。

6. 成果発表

本プログラムの成果は、成果発表会(「8. スケジュール」参照)において報告していただきます。

7. 新型コロナウイルス感染症に関する注意事項

- ①プログラム実施については、本学ホームページに掲載されている新型コロナウイルス感染拡大防止に係る各種通知に従って活動してください。

【新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応】

- ・<https://www.kagoshima-u.ac.jp/important/kuspecialsiteforcovid19.html>
(特に留意すべき通知)
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る今後の対応について(通知)第10報
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/important/20230315dai10.pdf>
- ・4月1日以降のサークル活動について
https://www.kagoshima-u.ac.jp/information/2304_circle.pdf
※状況により更新されますので、最新の対応について随時ご確認ください。

- ②学生同士又は他機関・他団体等の学外者との打合せを対面で実施する場合は、感染予防対策を十分行ってください。

8. スケジュール(令和5年度)

- ◆応募受付期間 5月15日(月) ~ 6月6日(火)17時(時間厳守)
- ◆審査期間 6月7日(水) ~ 6月26日(月)
- ◆結果発表 6月下旬または7月上旬(予定)
- ◆プログラム実施期間 採択後 ~ 翌年1月末日
- ◆成果発表会 翌年2月下旬~3月上旬

9. 問い合わせ先

〈一般部門〉学生部学生生活課学生企画係(共通教育棟1号館 1階)
係員 武 TEL099-285-7320
Mail:gakusen@kuas.kagoshima-u.ac.jp

〈地方創生活動部門〉研究推進部社会連携課産学・地域連携係(産学交流プラザ1 2階)
専門職員 屋所 TEL099-285-7104
Mail:screnkei@kuas.kagoshima-u.ac.jp